

# 軽度の男性不妊症例に対する 人参養栄湯の効果

医療法人社団心慈会レディースクリニックマリアヴィラ(東京都) 平松 久和

精液検査の異常所見の原因の多くは造精機能障害であり、その対処法の一つに漢方薬の服用が挙げられる。男性不妊に対する漢方薬の効果に関する報告は多いが、中でも比較的飲みやすい人参養栄湯の1日2回服用製剤に着目し、その効果について人参養栄湯の処方期間が3ヵ月以上で妊娠が成立した6症例を対象に検討したところ、いずれの症例も精液検査所見の改善を認めた。男性不妊症の治療は長期間にわたることから、人参養栄湯の1日2回服用製剤は有用であると考えられた。

**Keywords** 男性不妊、人参養栄湯、1日2回服用製剤

## 緒 言

不妊検査において異常の発見される割合は男女半々程度とされており<sup>1)</sup>、精液検査所見に軽度の異常(運動率の低下や精子数の減少)を認めるることは稀ではない。すぐに顕微授精を薦める程でもないが自然妊娠するのは困難そうであるという症例には、結構な頻度で遭遇することになる。

今回、当院において軽度男性不妊症例に人参養栄湯を処方して妊娠に至った6例について検討したので報告する。

## はじめに

平成26年から令和6年までの11年間に当院で不妊治療を行った患者の夫で精液検査所見の軽度異常(運動率50%未満(高速直進率25%未満)、精子数500～1999万/mL)を認めた者のうち92例に人参養栄湯を処方した。そのうち人工授精またはタイミング法により妊娠した者が14例(15.2%)で、その中で夫に対する人参養栄湯処方期間が3ヵ月以上であった6例を検討対象とした。

## 結 果

結果を表に示す。

## 考 察

男性の精液検査所見異常に関する原因の中で最も多いとされているのが造精機能障害で、原因のうちの9割を占めるが、その大多数が原因不明とされている(精索静脈瘤、薬剤性、下垂体性など原因が分かるものもあるが<sup>2)</sup>)。原因不明の場合、生活習慣の改善(禁煙、禁酒、長時間の圧迫中止(自転車中止)、サウナの禁止、等)や酸化ストレスを抑えるための抗酸化サプリメント<sup>3)</sup>、漢方薬などで対処することになる。

これまでに男性不妊に対して効果が報告されている漢方薬としては、補中益氣湯、十全大補湯、柴胡加竜骨牡蠣湯、八味地黃丸、牛車腎気丸、人参養栄湯などがあるが<sup>4-9)</sup>、当院では比較的飲みやすい味であることと、昼食前に勤務先で飲まなくて済むように1日2回タイプの製剤があるものとしてクラシエ人参養栄湯エキス細粒(KB-108)に着目した。

## 表 結果

症 例	年齢(歳)	経 産	精液検査所見(前 → 後)	内服期間	妊娠方法	特 記
1	34	2	(前) 運動率 13.5% 高速直進率2.4%	4ヵ月	自然	HSG未実施
2	31	0	SMI 24 → 38	6ヵ月	自然	牛車腎気丸 併用
3	29	0	運動率 39% → 69%	7ヵ月	自然	
4	40	0	精子数1400万/mL → 5500万/mL	10.5ヵ月	AIH(7回目)	
5	41	0	運動率 28% → 63%	4.5ヵ月	AIH(5回目)	
6	35	0	運動率 20% → 74%	4.5ヵ月	AIH(5回目)	

人参養栄湯は十全大補湯の応用とされていて<sup>10)</sup>、十全大補湯のセンキュウとソウジツの代わりにオニジ、ゴミシ、チンピとビャクジツが含まれている。そのために、一般的に男性不妊で一番処方されていると考えられる補中益氣湯や牛車腎気丸と比べて、味がほのかに甘く飲みやすいと思われる(筆者の個人的好みもあるかも知れないが)。証で言うと衰弱と言ってよいほどの強い虚証に対する方剤とされているため、ジオウによる胃腸障害で飲めない人以外には、証を問わずに飲むことが可能であるとも考えられる。そして男性が会社で昼休みに内服するのに人目が憚られることは想像に難くないので、家で1日2回の内服で済ませられるKB-108の7.5g(分2)は理にかなっている。

今回妊娠が成立した6例をみてみると、内服前後での精液所見が比較できたのは6例中5例で、全ての症例で運動率の改善を認めている。人間の精子が精細胞から運動精子として射出されるようになるまで74日かかる<sup>11)</sup>とされているので今回の検討でも少し長めの3ヵ月以上の内服者だけを検討対象とした。人の噂も七十五日ではないが、漢方の内服も七十五日、である。まずは2.5ヵ月継続してもらうことが精液所見の改善に繋がると信じて飲み続けてもらう。そのためにも1日2回製剤が服薬コンプライアンスを上げる一助となる筈である。そして文献的にも人参養栄湯では3ヵ月程度の比較的早期に効果が現れるという報告もある<sup>9)</sup>。

精液所見が前後で比較できなかった症例1では、妊娠率を上げる効果が期待できるとされている卵管造影検査も行わず妊娠が成立したことが漢方薬の効果であることを強く推定させる一因である。

妊娠手段に関しては、今回自然妊娠(タイミング法)3例と人工授精(AIH)3例で半々であったが、特に人工授精の方の施行回数は3例とも5回以上であり、その間粘り強く漢方を継続されたことが妊娠に繋がった可能性が高い。最近のインターネットからの知識普及で早め早めにステップアップを選択して体外受精に行かれる方のほうが圧倒的に多い中でも、一部の方は経済的理由や信条的理由から人工授精までしか行わない、体外受精はしない、と決めている方もあるので、そうした方々こそ漢方療法の良い適応なのではないかと、今回の検討から再認識された次第である。

## 結語

今回検討した男性不妊6症例は、3ヵ月以上の人参養栄湯内服により精液所見が改善したことが妊娠を成立させた可能性が強く推定される。七十五日を超えて長期にわたって服薬していただくためにも、クラシエの1日2回製剤は有用であると考えられた。

### 【参考文献】

- 1) 竹田省ほか: データから考える 不妊症・不育症治療: 36.41不妊症の原因: メジカルビュー社 2017
- 2) 萩原稔編: インフォームドコンセントのための図説シリーズ 不妊症・不育症 改訂3版 III.不妊症の原因と転帰 3.男性不妊: 27-28, 医薬ジャーナル社 2016
- 3) Terai K, et al: Combination therapy with antioxidants improves total motile sperm counts; A preliminary Study. Reproductive Medicine and Biology 19: 89-94, 2020
- 4) 光川史郎ほか: 男性不妊症患者に対する補中益氣湯の使用経験. 日本不妊会誌 29: 458-465, 1984
- 5) 廣瀬雅哉ほか: シンポジウム－不妊と漢方療法－乏精子症に対する漢方の効果.産婦人科漢方のあゆみ X IV: 35-47, 1997
- 6) 小宮顕ほか: 実証の男性不妊症に対する柴胡加竜骨牡蠣湯の効果－精液所見ならびに8-OHdGの変動－. 漢方医学 34: 256-260, 2010
- 7) 三浦一陽ほか: 男性不妊症患者に対する八味地黄丸の臨床効果について. 泌尿紀要 30: 97-102, 1984
- 8) 五味淵秀人ほか: 牛車腎気丸の男性不妊への効果. 基礎と臨床 25: 1601-1603, 1991
- 9) 五味淵秀人ほか: 人参養栄湯の男性不妊症への効果. 産科と婦人科 61: 1028-1030, 1994
- 10) 坂東正造・福富稔明: 山本巖の臨床漢方(上) 89 第1章 補益と補養剤 メディカルユーロン 2010
- 11) 石川智基: 男性不妊症 74 第2章 精子の働きと不妊の原因 幻冬舎新書 2011